



自治会だより

2016
初夏号

～挨拶と花と緑の明るいニュータウン～
～思いやり、手をかす力、地域の輪～
～守ろう!住環境維持のルールとペットマナー～



28年度自主防災会役員



28年度役員

平成28年度にあたって

自治会長 浅井 嘉一

友だち100人

できるかなあ、

大型連休も終り、通学路では可愛い一年生の真新しいランドセルがひときわ目に入ります。ぴかぴかの一年生、今頃は“友だち”をつくる大切なときでもありません。

生まれも育ちも新潟の片田舎、素朴で純情な中学校の同級生がちょうど100人でした。世間知らず井の中の蛙ですが“金の卵?”ともてはやされ、高度経済成長やバブル期には上り坂や下り坂を味わい、失敗や成功でたくさんの友人知人そして先輩に出会い、支えられ、別れも体験しました。その我らも既に後期高齢。3月に東京で開かれた中学校の同級会には20人の懐かしい顔が揃い、昔ばなしに時を忘

れました。

白岡ニュータウンは、もうすぐ満30歳を迎えます。このまちで生まれ、そして育つ子供たちが次々に成人式を迎えています。隣の高岩駒形地区も「新白岡」と町名変更されました。私たちを取り巻く環境の変化、隣人との交流や助け合いは益々必要になることでしょう。我が家を「終の棲家」と決め喜寿を迎えたいのですが、さて“友だち100人”できたかなあ?”と、つくづく感じさせられるこの頃です。

ご協力

ありがとうございました

平成28年 熊本地震災義援金

四万一千五百七十三円

白岡ニュータウン

自主防災会
自治会

第28回通常総会・第2回自主防災会通常総会

第28回自治会通常総会報告

総務部長 徳永 浩

白岡ニュータウン自治会第28回並びに自主防災会第2回通常総会が4月29日白岡東小学校で開催されました。冒頭、当日の委員の出席が243名で、また委任状と合わせ861戸の参加であり、過半数の700戸を上回る事から、本総会が成立している旨の報告が村井議長よりありました。

まずは自治会の27年度活動報告、決算報告、監査報告を経て28年度の新役員が発表され、満場一致で承認されました。役員選任後、浅井会長より28年度活動方針(案)が詳しく説明され、引き続き担当部長より活動計画(案)、予算(案)の説明があり、採決の結果、満場一致で承認されました。

Q 30周年記念事業案があれば教えてほしい。

A 委員会を発足させて内容など検討したい。

Q 高齢化に伴いバリアフリー化という意見があったが、公園のスロープや舗道のデコポコ等をチェックする体制をとって、白岡市へ要望して欲しい。

A 舗道についても危険箇所があり、環境部と写真撮影等調査中。市に改善を要望する予定。

Q 趣味の作品展示会があるが、切手等趣味で収集している方々が多数いらつしゃると思う。そういった方々の展示も検討してはどうか。

A 収集品は高価なもので、会場の管理を含め事業部と

Q 検討します。貴重なご意見ありがとうございます。電柱にカラスの巣、東京電力に申し入れ撤去した。通学路でもあり、子供達に危害が及ばないか心配で注意して欲しい。

A 子供達の安全の為、注意したい。情報があれば、市役所に撤去の要請をします。

Q 中央通りに住んでいるが、樺の伐採について、あまりにも切り過ぎだと思つて、反対意見もあると思つるので、アンケートをとつて、その結果に従うという形にしてはどうか。

A 環境部の研究課題とします。

第2回自主防災会通常総会報告

自主防災会事務局 堀 康幸

自治会総会に引き続き、自主防災会の第2回通常総会が開催され、村井議長の進行で27年度活動報告、決算報告があり、承認されました。田端新会長から今年度の活動計画案として、3年前に整備した要援護者・支援者体制の現行化、それに伴う防災調査票の全戸配布、災害時の携帯トイレの調達、市からの補助金を

活用した防災士の育成などが報告され、承認されました。折本前会長から退任のご挨拶があり、永年の自治会活動へのご尽力・ご活躍に対し、会場から感謝の拍手が贈られました。

また質疑応答では活発な意見が交わされ、最後に廣瀬副会長より閉会の挨拶で通常総会は終了いたしました。

第2回自主防災会通常総会・新役員挨拶



質疑応答の様子

新役員挨拶

副会長
氏林 浩一



自治会会員の皆様には、日頃より自治会活動にご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げます。平成28年度より副会長を務めさせて頂くことになりました。

私は、平成24年の班長引継いで見事役員を引き当て、1年間副部長を務めた後、翌年に部長。各部との調整、取りまとめ、会議体の運営等々役員各位のご指導、ご協力を頂きながら活動してまいりました。また、総務部長は緑化規約の責任者を兼務しており、申請時には書類審査だけでなく、必ず現地調査を実施、花と緑の明るい街づくりを目指しました。そして、今年度より副会長として、総務部を受

け持ちます。安全で安心して暮らせる街づくりを合言葉に、総務部の皆様と住環境維持のルールとペットマナーの遵守に注力すると共に、引き続き各部のサポートに徹し、円滑なる自治会活動ができるよう取り組んでまいります。しかし、何事も自治会会員の皆様方のご協力がなければ上手くいきません。皆様方の自治会活動へのご理解と、積極的なご参加、ご協力があつてこそ成し遂げられると思います。

決意を新たに、微力ながら自治会活動に尽力する所存です。是非とも皆様方のご支援を賜ります様お願いいたします。



総務部長
徳永 浩



昨年度、総務部副部長として、初めて自治会活動に参加させて頂いたいただきました。多くの会員の方々と巡り合い、自治会活動の難しさ・大切さ、そして何より誇りを知ることが出来ました。

今年度は、総務部長を仰せつかりました。く挨拶と花と緑の明るいニュータウンくこのスローガンのもと、住環境維持のルールとペットマナー向上、タバコポイ捨て防止等に引き続き取り組んでまいります。各部が円滑に活動出来る環境整備にも取組みたいと思っております。

尚、今年度も認知症サポーター養成講座を開催致します。ご近所・ご友人お誘い合わせの上、ご参加いただけます様、お願い致します。

新役員挨拶・退任役員挨拶

会計部長
飯田 裕久

この度、会計部長を務めさせていただくことになりました、一丁目の飯田です。

新白岡に住んで二十二年になります。最初の頃と比べると、色々な面で随分と住みやすい環境に変わってきていることを実感いたします。それは、これまでの自治会役員の方々や会員の皆様方のご努力のたまものと思います。

自治会の役員は昨年の会計部副部長に続きやつと2年目になります。先輩方が築いてこられたこの白岡ニュータウンを益々住みやすい街となるよう、微力ながら努めさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

広報部長
伊藤 祐介

自治会活動に参加して3年目、広報部長に就任した一丁目の伊藤です。

広報部では「自主放送(11ch)」「自治会だよりの発行」「ホームページ運営」を通して今年度も白岡ニュータウンの皆様へ情報提供を行なって参ります。CATV委員会を開催します。

11chでは広報部担当の班長さんを中心に、積極的に動画を活用しながら、情報提供の充実を図っていく予定です。

ホームページにつきましても、ボランティア5名の方々のご協力をいただきながら、魅力ある内容の充実を図ってまいります。

今後とも皆様からの情報、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

環境部長
野呂 典子

環境部にご縁があり、4年目の環境づくりに関わることになりました。部員総数26名で、楽しく交流しながら、行事に参加して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。なお、20周年記念事業としての「オオムラサキの植樹会」は、27年度を持ちまして終了致します。これまで九千本の苗が植えられ、「花と緑のニュータウン」が、いっそう輝くことでしょう。また、春夏のごみゼロ運動、年2回の生け垣消毒、落ち葉清掃、植樹の手入れ、そしてゴミ集積所の補修工事等々、行政とも連携しながら事業を進めて参ります。今後とも、皆さまの暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

退任役員挨拶

前広報部長

甘利 和代

2年間、広報部でいろいろと勉強をさせていただきました。アナログ人間の私が務まるか不安でしたが、皆様のご指導、ご協力のもと、なんとか任務を果たすことができ、安堵しています。ホームページの更新作業には、ボランティアの方々のお力添えに感謝いたします。住み良い街づくりのため、自治会員のためと、日々知恵をしばらくボランティアで奮闘している方々の姿をみて頭が下がりました。また、悠友会20周年の取材では、そのパワーに圧倒されました。11chを通して自治会活動の情報を得て、各イベントへ参加してくださればありがたいです。皆様にたいへんお世話になりました。心より、御礼を申し上げます。

公的委員・知事受賞

公的委員

平成二十八年度、引き続きの方々です。

民生・児童委員

- 一丁目 川島 勉
 - 二丁目東側 桃井 身代子
 - 二丁目西側 川上 誠次
 - 三丁目東側 飯塚 牧三
 - 三丁目西側 児玉 操
- 主任児童委員
篠津中学校校区 富廣 容子
- 行政区長

- 一丁目 氏林 浩一
- 二丁目 野呂 典子
- 三丁目 浅井 嘉一



退任役員の皆様、お疲れ様でした

知事受賞

自主防災会 会長 田端 勇治

『当自主防災会が埼玉県知事賞を受賞いたしました』

平成28年2月2日さいたま文化センターで、27年度埼玉県地震対策セミナーの席上で、埼玉県知事賞を受賞することができました。白岡ニュータウン自主防災会とコンドミニウム坂戸防災隊の2団体が受賞いたしました。

以下の3点 ①総合防災訓練に多くの住民が参加し、様々な訓練を実施 ②高齢者などの要援護者を支援する体制を構築 ③子どもを参加させる工夫や、自主的に訓練に参加するための仕組み作りが高く評価され受賞に至ったものです。これもひとえに、自主防災会の役員の皆様及び自治会

員の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。会場のホワイエでは、2団体の組織概要・活動内容や昨年の防災訓練の写真が展示されており、多くの参加者が見学をしておりました。

表彰式の後、今泉マユ子氏（日本災害食学会災害専門員）による「今日からできる防災食備蓄〜災害時でもいつもの食事を〜」と、片田敏孝氏（群馬大学大学院理工学府教授）による「いま求められる地域防災〜災害にも強い地域の在り方を考える〜」の講演があり、大変参考になりました。特に片田氏の「地域の防災力は、その地域の人たちのつながりの強さで決まります」とのお話は、その通りだと思います。

大規模災害時の被害を最小限にとどめるには「共助」が欠かせません。高齢者や障がい者、妊婦など災害時に手助けが必要な人に、支援の手を差し伸べるには、地域住民の日頃のつながりが大きな力を発揮します。“向こう三軒両隣”です。

地域の防災力を一層高めていくために、できることから一つずつ進めていきたいと思っています。今後とも防災活動への皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。受賞の報告とさせていただきます。



篠津中学校開校70周年・趣味の作品展

篠津中学校

開校70周年

白岡市立篠津中学校長 栗原 洋芳



篠津中学校が開校70周年を迎えました。開校以来、本校に寄せられた保護者や地域の方々をはじめ行政当局、関係者の方々のご支援、ご協力に改めて感謝を申し上げます。

本校は、昭和22年4月1日、戦後の新しい学校制度に基づいて開校されました。学校沿革誌には、「昭和22年3月25日、中学校仮校舎として、現白岡青年学校において使用中の南埼玉郡白岡乾繭所（注…かんけんじょ…蚕の繭を乾燥させる場所）を借用することに決定する。4月1日、法律第26号学校教育法により、埼玉県南埼玉郡篠津村立篠津中学校として開校する。（一部抜粋）」と記されています。同年5月12日、当時の篠津村長をはじめ

有識者多数列席のもと、開校式が行われ、5月12日を本校の開校記念日としています。さらに沿革誌には、校舎建設に関する経緯等も記されています。

戦後間もない社会情勢の混乱期に、校舎建設の機運が高まりました。建設費は当時のお金で約710万円（昭和23年大卒公務員の初任給は2990円）、これに対して国庫補助は60万円しかありません。資金調達について沿革誌には、信じがたいことに、校舎建設に関する村民懇談会の意見として、「貨幣価値変動の激しい折柄、起債は一切行わぬこと、全村民の寄付金によって賄うこと。」と記録されています。1年足らずの間に村を挙げて

の寄付金650万円が集まり、校舎建設がなされたとのこと。です。

このことから本校に寄せられた地域の方々の大らかな期待と愛着が感じられます。創立70周年を機に本校の歴史を振り返り、これからも学校教育目標「自立」のもと、「潤いと秩序の中で、若さがあふれ豊かな心を育む学校」を目指して生徒の育成に努めていく決意を新たにしたいところです。今後とも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



創立70周年の篠津中学校

趣味の作品展

事業部長 田尾 豊

1月23日（土）24日（日）大人と子供の趣味の作品展がノースプラザで開催され総数100点以上に及ぶ作品が展示されました。そしてこの2日間で180人も多くの方々が会場に足を運んでくださいました。今年は会場（大人・子ども共）をノースプラザに集中し、更なる盛り上げとご来場者の利便性を考慮しました。毎年感じるのですが、出展された作品の美しさはもとより、技術力の高さは目を見張るものがあり、精魂込めた素晴らしい出来栄へと感銘いたしました。又、子供の作品体験では毎年先生役を務めて頂いている木村さんのアイデアにより、多くの子供たちが本当に楽しくそして和やかに楽しんでくれました。（目的の一つコミュニケーションで

趣味の作品展・図上訓練

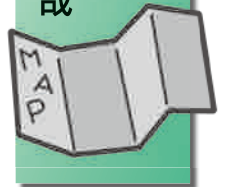


繋ぐ新白岡ですね）
 来年以降も皆様が気楽に参加して頂けるよう、事業部一同全力で取り組んで参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

本当に素晴らしい作品ばかりでした

災害図上訓練

自主防災会事務局長 目次 英哉



これは、「災害をリアルにイメージすること、災害時に必要な判断をする練習です。2月14日（日）、ノースプラザに5名の講師を迎え、自主防災関係者35名が5つの班に分かれて訓練をしました。

講義の後、各班の机に白岡市の白地図を広げ、道路、川、病院、消防署、災害避難場所などを記入、市の防災マップの軟弱地盤や洪水時冠水の範囲を、手分けして書き込みました。出来上がると、地盤の高低、避難場所の片寄りなど、我が街の特徴があらためてよく判りました。

後半は、ニュータウンの白地図に、仮想の火災、地割れ、水道管破裂箇所を記入、支援が必要な家なども書き込みました。その上で個々の要支援者の状況が示され、誰から順

に助けるべきかななどを各班で議論しましたが、何とも悩ましい判断でした。実際の災害時に的確に判断するのは大変と実感しました。

熊本地震でテレビに映った現地の対策本部で、大勢で地図に何かを書き込んでいる様子を見ました。その雰囲気も多少ともイメージ出来た事が、訓練の効果でしょう。こうした研修をみなさんが体験されると良いと思います。



防災士による解説と指導



白岡ニュータウンの地図で救助訓練



白岡市の地図への書き込み

隣の町内会① 高岩1駒形自治会

白岡ニュータウン自治会
自治会だより

2016年初夏号

2016年6月1日発行

(年3回発行)

発行・白岡ニュータウン自治会

制作・広報部

私たちの高岩駒形地区は新白岡4丁目から6丁目、宇都宮線を挟んで旧野牛地区の一部は新白岡7丁目から9丁目に変わりました。ニュータウン地区と合わせ、1丁目から9丁目へと大変大きな地域となったのです。区画整理事業の前は駒形・野牛合わせても

白岡ニュータウンの皆さまへ

昭和60年にスタートした区画整理事業も約28年の年月を要し、その間にはJR新白岡駅の開業やニュータウンの住宅販売などもあり、昨年10月に完了となりました。そして、新しい町名が「新白岡」となりました。

隣の町内会①

高岩1駒形自治会

自治会長 井上 聰



約500人(区画整理地区内)の人口でしたが、事業の完了した平成27年には、約4000人の住む地区となりました。このたび駒形公園などに事業の経緯や町名変更の「銘板」が設置され、白岡市長ご臨席のもと記念の除幕も執り行われました。

話を昔に戻すと、昭和29年9月に日勝村(ひかつむら)、大山村、篠津村(高岩は篠津村でした)が町となり、県内最初の分離合併だったのと、大山の一部が菖蒲に合併されました。また三村合併は村郡同士の合併による初めての町制が実現したと記録されています。古来より高岩の地名については、かつて流れて

いた日川(につかわ)の低地(現在のニュータウンの一部)から、高岩本村(たかいわほむら)の天満神社付近の土地が高い台地になっていて、かつては2メートルの高低差があった地形から命名され「高岩」となったといわれています。また、駒形の地名は、地区内にある「地藏菩薩立像」の台石(享保9年1724年銘)「高岩村駒形中」の文字が刻まれ、かつての小字名の「駒形」に因んで呼ばれたのではともいわれています。



高岩駒形公園にて

新白岡駅を中心に私たちの住む地域も新しい時代を迎えました。今後とも地域の歴史を大事にしながら隣人同士、末永く仲良くしてゆきたいと思っております。

編集後記

ニュータウンに住んで28年、「自治会だより」の編集を担当することになりました。若い広報部員が多い中、平均年齢をズンと上げる存在ですが一杯努めますのでよろしく。通常総会では貴重な意見が交わされ「挨拶と花と緑の明るいニュータウン」に相応しい街作りに生かされるでしょう。美しい並木路や田園風景、そして交わす挨拶、そんな明るい街作りに少しでも役立てれば幸いです。(柿)